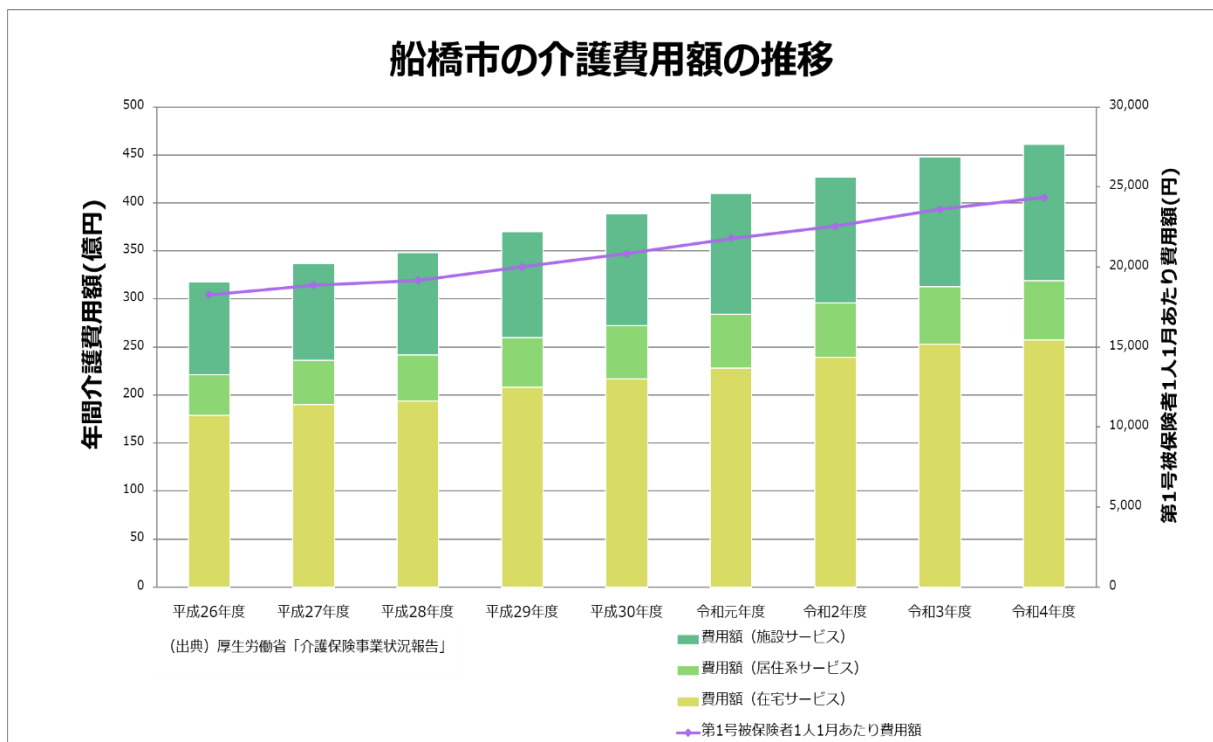
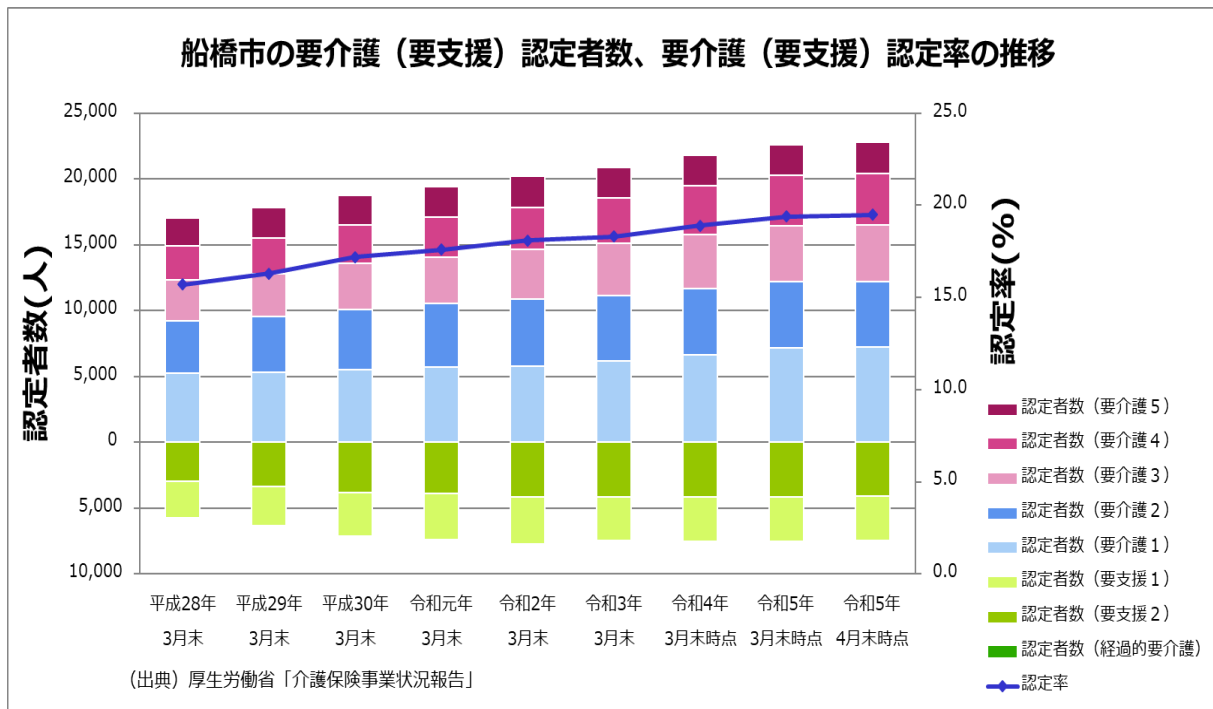


船橋市介護保険事業の動向について



○船橋市の現状

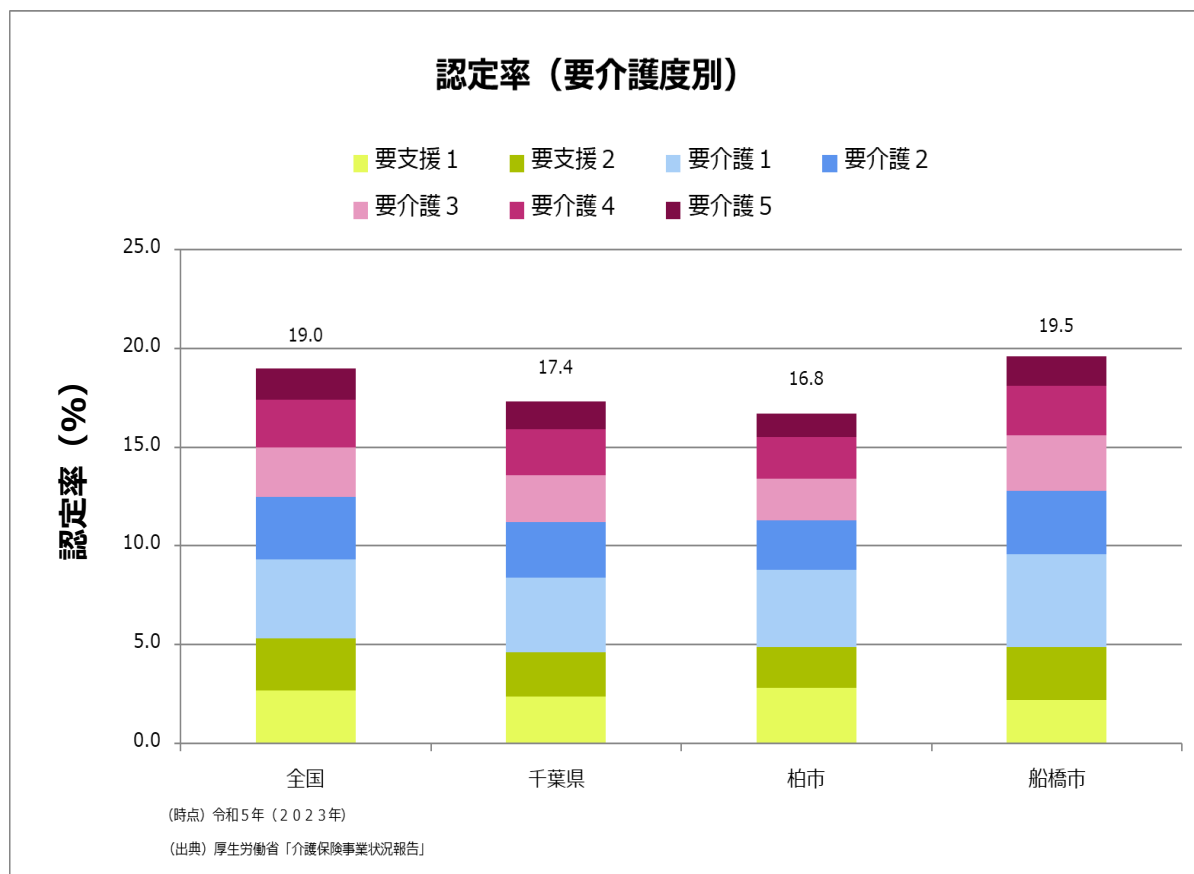
1. 認定率について（認定率＝「認定者数」／「第1号被保険者数」）

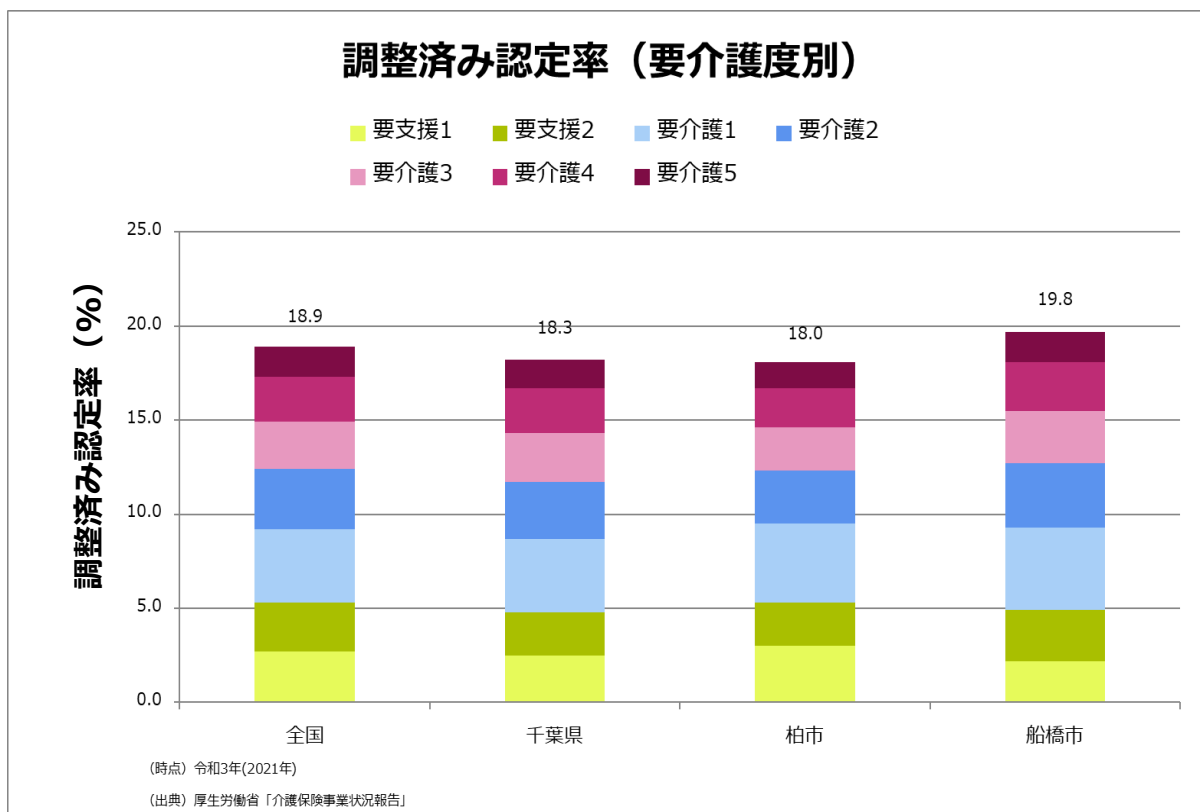
「認定率（要介護度別）」のグラフから、船橋市の認定率は19.5%で、全国平均の19.0%よりやや高くなっている。さらに、千葉県平均や県内において船橋市と同様に中核市である柏市と比較すると認定率は高い（千葉県平均17.4%、柏市16.8%）。

一般的に、75歳以上の後期高齢者になると認定率が高くなり、船橋市は今後、後期高齢者割合が増加することから、ますます認定率が増加していくことが予想される。

さらに、次ページにある「調整済み認定率（性・年齢調整を行い、同じ人口構成と仮定したもの。後に詳細説明を記述。）」においては、船橋市の認定率は19.8%で全国平均、千葉県及び柏市と比較し高い数値となっている。

このように、現状として、船橋市は認定率が高い傾向にある。





調整済み認定率とは・・・

調整済み認定率とは、認定率の大小に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢別人口構成」の影響を除外した認定率を意味する。

一般的に、後期高齢者の認定率は前期高齢者のそれよりも高くなることがわかっている。第1号被保険者の性・年齢別人口構成が、どの地域も、ある地域または全国平均の1時点と同じになるよう調整することで、それ以外の要素の認定率への影響について、地域間・時系列で比較がしやすくなる。よって、後期高齢者の割合が高い地域の認定率は、調整することで下がる。

【調整手法の概要】

A市の調整済要介護認定率＝

(A市)男性・65～70歳の要介護認定率

×

(全国)男性・65～70歳の第1号被保険者数

+・・・+

(A市)女性・90歳以上の要介護認定率

×

(全国)女性・90歳以上の第1号被保険者数

(全国)男性・65～70歳の第1号被保険者数

+・・・+

(全国)女性・90歳以上の第1号被保険者数

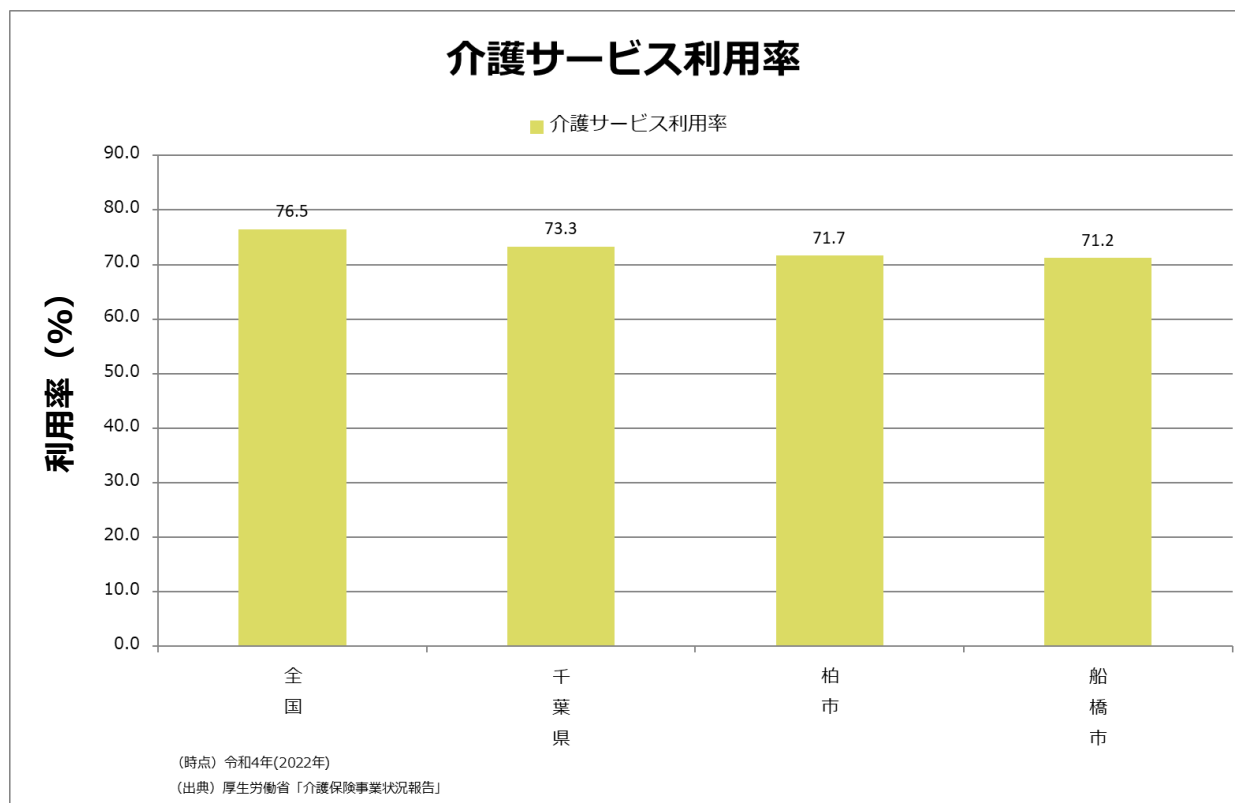
※性・年齢5歳階級別の第1号被保険者数については、住民基本台帳の性・年齢5歳階級別人口データから、各層が65歳以上人口に占める割合を算出し、その割合で第1号被保険者数を按分して算出する。

厚生労働省老健局介護保険計画課「介護保険事業（支援）計画策定のための地域包括ケア「見える化」システム等を活用した地域分析の手引き」より

2. 利用率について（利用率＝「受給者数」／「認定者数」）

一方で、介護サービスを利用している利用率は、71.2%と他と比較して若干低い結果となった。

この結果から、認定を受けているのに介護サービスを利用していないサービス未利用者が他と比較して若干多い傾向にあると考えられる。



3. サービス受給率について

（受給率＝「受給者数」／「第1号被保険者数」つまり「認定率」×「利用率」）

施設サービス及び在宅サービスの偏りの有無を分析するという観点から、それぞれの受給率について見ていくと、受給率（施設サービス）のグラフから、船橋市の施設受給率は2.4%であり、全国平均、千葉県平均と比べると少し低い。

また、受給率（在宅サービス）のグラフから、船橋市の在宅受給率は10.2%であり、全国平均と比べると少し低いですが、県内平均からは高くなっている。

このように、船橋市は、施設受給率より在宅受給率が他と比較してやや高い傾向に

あることから、在宅での介護保険サービスを利用する者がやや多い傾向にあることが伺えるが、受給率から見るサービス利用の偏りについては、他と比較して大きな特徴は見られなかった。

